

令和3年度 清友幼稚園 学校評価 自己評価

令和4年2月16日

1. 園の教育目標

幼児の心身ともに健康な成長発達のために適切な環境を用意し、幼児期にふさわしい集団生活が展開されるよう配慮した幼児教育をめざしている。教職員との信頼関係に支えられた活動、直接体験、友だちとのかかわりを通じて、個々の幼児が情操豊かで、良き生活習慣や人間関係に向かう意欲や態度を培う保育に取り組む。

本園ではめざす教育目標として次の3項目を掲げる。

1. 心身共に健康で情操豊かな子どもに育む。
2. 誰とでも手をつなぎあっている子どもに育む。
3. 人の話がしっかり聞ける子どもに育む。

2. 令和3年度、重点的に取り組んだ目標・計画と自己評価

評 価	A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが、成果が十分でない D 取組が不十分である
-----	---

目標・評価項目	取組み内容	取組み状況	評価
1, 教育・保育内容の充実 (1)	幼稚園型認定こども園として、幼稚園として取り組んできた内容に加え、保育を必要とする園児の増加に伴う、組織・体制の再構築に取り組む、教育・保育の原点を見失わず、さらなる充実を図る。	1号園児246名、2号園児20名の268名。園児数の増加と感染予防で密を避ける意味もあり、年少4クラス、年中3クラス、年長4クラス、満3歳1クラスの12クラスの編成とした。新型コロナウイルス感染症の蔓延防止措置、緊急事態宣言の発令などの状況を見ながらの保育となったが、できる限り通常の保育を行えるよう努めた。	B
(2)	教職員の信頼関係を築き、良好な人間関係の構築を大事にする。フリー教員と担任教員の学年団体制を強固にし、保育の援助指導面と管理面の分担と連携を図る。要支援児についても、他機関との連携を強め、質の高い保育を目指していく。	学期ごとのカンファレンスを毎週簡潔に行うようにし、園児の状況を頻繁に伝えあうことで、園児についての情報を全教員で共有することができた。また、フリーと担任がうまく連携が取れるように配慮した。 支援を要する園児数は年々増加していて、「いちよう学園」、「子育て支援みらい」等、専門の施設と連携を取り、要支援児其々について訪問支援など詳細な指導を受けている。 年々民間の療育施設に通う園児も増加しており、それらの施設から来園して見学されることも多くなり、複数の施設と情報交換を行っている。	B

<p>(3) ①指導内容の充実</p>	<p>音楽・絵画・体育・英語に引き続き力を入れると共に、従来の教育課程に専門講師の指導計画をスムーズに組み込み、より質の高い教育内容を目指していく。一人一人の園児の特性に留意しつつ、新教育要領の幼児期の終わりまでに育てほしい姿を育てるようなカリキュラムの改善に努める。</p>	<p>昨年に引き続き、運動会は新型コロナ対策のため、学年ごとに3日間に分けて無事に開催することが出来た。音楽会については新型コロナの感染状況も落ち着いており、1クラスごとに入れ替え制で保護者も参加して実施することができた。 令和4年に入り、オミクロン株が急速に蔓延したため、絵画展は中止し、作品などを写真で撮影したものを配布することに変更した。 家庭保育の協力を要請していることもあり、登園している園児と、家庭保育に協力している園児の保育内容に差が生じないように配慮した。</p>	<p>B</p>
<p>②保育環境の充実</p>	<p>園庭の樹木・遊具の整備を行う。季節ごとに花の種蒔・植栽をおこない、自然教育の環境を整える。 蔵書・楽器の充実を図る。</p>	<p>今年度も園庭開放から新入園児の保育を開始し、スムーズに迎え入れることができた。植栽も随分成長し、園児たちはお花を見たり、かくれんぼをしたり、虫を探したり、思い思いに楽しんでいる。広くなった畑で、苺・ジャガイモ・キュウリ・トマト・枝豆・稲・大根・人参など様々な野菜を育てて収穫することが出来た。保護者会園芸委員の協力を得て、芋ほりを実施した。 クラス数の増加もあり、絵本、玩具と、キーボード、マリンバ等の楽器を購入した。</p>	<p>A</p>
<p>③預かり保育の充実</p>	<p>長時間の預かり保育利用のためのプログラムの充実化を図る。1号認定児についても、預かり保育・早朝・延長保育を利用しやすい体制の整備を図る。</p>	<p>コロナ対応で1室の園児数を制限しなければならないが、新2号・新3号への補助などで希望者が増加しており、各学年の保育室も利用し、担任も当番制で手伝って、希望者の受け入れを行った。</p>	<p>B</p>
<p>④食育に対する取り組み</p>	<p>1号認定児については給食設定は行なわないため、保護者に対してお弁当づくりの意義を伝え、食育に関する必要な情報提供を行なう。</p>	<p>今年度もコロナ対応のため、収穫した野菜を食べたり、会食を行ったりは出来なかったが、年長児が田植えをし、収穫できたお米で飯ごう炊さんを行った。 今後も、給食・お弁当に関係なく、保護者にも食育の情報提供を行っていく。</p>	<p>B</p>

⑤徒歩通園の 取り組み	バス通園をおこなわず、保護者には徒歩通園の意義を伝え、子どもたちの健康づくり・親子関係の育みを目指していく。	自転車通園が多いが、保護者には大阪府の条例や交通マナーを守って登園していただくよう繰り返しお手紙で啓発し、園児に対しては、交通安全教室を開催した。引き続き徒歩通園の意義を伝えていく。	B
⑥教員の指導力の 向上	園内外の研修の充実を図り、教員の指導力向上を図る。	本年もコロナ禍で、対面式の研修の中止や延期が続いているが、オンライン研修が増えたことで、今まで遠方で参加できなかった研修など、たくさんの研修機会を教員に提供できている。専門機関との連携の中で、担当指導員とのカンファレンスなどで得た、特別支援教育に関する知識や情報を、教員間で共有している。	B
⑦小学校等との 連携	卒園児が就学予定の地域小学校（主に6校）と連携を深め、小1プロブレムに対応していく。地域の中学校・高校等の職業体験の受け入れを行う。	地域の中学校・高校の職業体験や小学生との交流はコロナの状況をみて中止した。幼保小連携研修などに参加し、就園前に幼稚園で取り組むべき課題について理解を深めた。就学前に地域小学校への引き継ぎを早い時期から開始している。	B
(4) 教職員の 育成・評価・能 力開発を図る	定期的な個人面談・園内研修・自己評価を通じて、教職員の能力向上を促す。	学期ごとに個人面談を行い、悩みや課題を聴取している。 それぞれの個人行動目標シートに年度目標、学期目標を設定させ、具体的な行動、振り返りを記録させ、自己評価をさせることによって、能力、資質の向上を図った。 教育実習、インターンシップを積極的に受け入れ、後進の指導にあたった。	B

2、園の施設、設備、遊具、行事などの総点検	(1) 施設、園庭、設備、遊具などの安全を、常時定期的に確認し、少しでも危険が予測される場合には速やかに改善していく。保育室の空調設備の改善を行う。照明のLED化を進める。	施設、園庭、遊具の専門業者による遊具の安全点検を行った。全職員が常時、子どもの安全面で問題のある箇所について報告し、対応している。 夏休みにエアコンの交換・増設など、保育室の空調設備の改善を行った。 2歳児受け入れにも対応するため、台所の改修を行った。 LED化は中央玄関・東玄関の外部照明の改修を行った。	A
3、安全管理体制の整備、強化	(1) 火災、災害などの発生に際して園児、教職員をはじめ園内の安全を確保するために、通報、安全確保、避難、保護などの方法、手段のマニュアルを改善し、徹底する。様々な場合を想定した防災訓練を毎月行う。非常用の水・食料の備蓄を行う。	学校安全委員を置き、最善の通報、安全確保、避難、保護などの方法、手段をマニュアルにし、さらに確認し合っている。災害時の様々な状況を想定して、毎月訓練と反省会を行っている。 消火器の使用、消火栓の放水訓練を実施した。 非常持ち出し用の備品を整備した。 災害時用の水やビスケット等をローリングストックとして備蓄している。	B
	(2) 不審者、侵入者などから園児をどう守るか、防御・連携体制を強化する。	監視カメラ、警備員による不審者対策を行っている。監視カメラの入れ替え・増設を行った。画像も鮮明になり、増設により死角をなくすことができた。園内で2回の訓練の他、さすまたの使用方法の訓練を行った。 保護者証の携帯の徹底に努めた。	B
4、子育て支援の実施	(1) キンダーカウンセラー事業として、専門家を招聘し、在園児であるなしに関わらず地域の子どもの発達に関する相談に応じていく。	毎月カウンセリングの日を設け、保護者だけでなく、地域の子育て世帯や教職員の相談にも応じてもらっている。 新型コロナ対策を行いながら、キンダーカウンセリングを実施した。	A
	(2) 未就園児の親子登園（さくらんぼ組）を実施し、集団生活の体験、子育ての情報提供や、参加者間の交流の場の提供を行う。	今年度は新型コロナウイルスの感染者も多く、蔓延防止対策・緊急事態宣言などで、未就園児親子登園（さくらんぼ組）は実施できていない。今後様子を見て再開する予定。	C

	(3) 絵本の貸し出し、読み聞かせ会、子育て相談を実施する。	毎月2回、在園時、卒園児、未就園児に図書室の絵本の貸し出しを行った。 保護者有志の絵本の読み聞かせ会は、緊急事態宣言の期間を除いては、コロナ対策をして遊戯室で行っている。 主幹教諭による相談を水曜以外にも随時行い、保護者や園児のコロナ禍での不安や、その他の悩みに対応している。	B
	(4) 課外教室の充実を図る。	さくら英語学院、らいおんスポーツクラブ、学研みらいの課外教室も好評で、感染防止に留意しながら開催されている。	B
5、教職員の勤務、給与について	(1) 従来の給与体系を一定維持しつつ、教職員の職務能力に応じた体系に改定していく。時間外労働を抑制し、有給休暇の取得を促進する。 (2) 認定こども園移行に伴う土曜日の開園について、保育担当教職員と教育担当教職員の負担の公平性に配慮する。	新型コロナウイルスなどの感染症に対応するため、特別休暇について就業規則を変更した。 昨年に引き続き処遇改善に適切に対応している。 変形労働時間制を実施し、労働環境の改善と、時間外労働の削減に努めた。時間外労働については今年も減少しており、パート職員も含め、平均5日以上の有給休暇を取得した。 土曜日の常勤職員の補助として、学生アルバイトを活用した。	B
6、園に対する保護者の満足度把握、情報共有及び情報公開	(1) 私学の独自性に配慮しつつ 子育て中の保護者が期待する幼稚園像を確認し、地域社会に求められる本園の将来ビジョンの策定は引き続き行なっていく。	保護者アンケートだけでなく保護者から直接、意見を聞き、保護者が期待する幼稚園像を把握しつつ、自治体と密に情報交換しながら園の運営を行っている。コロナ対策については、保護者によって様々な考え方がるので、各々に対して、園の取り組みの説明に努めた。	B
	(2) 保護者と教育・保育状況の情報共有をしていく。	降園時には、保護者ひとりひとりに保育状況を伝えている。 行事などの情報の発信に、一斉メールを活用した。	B

	(3)本園ウェブサイトにより、自己評価及び会計情報を公開していく。ホームページで園の様子や子育て情報の発信に努める。	本園の自己評価・会計情報をウェブサイト公開した。 園での行事などのブログ発信に努めた。	C
7、新型コロナウイルス等の感染防止に対応する	(1)園内清掃・消毒の体制を整える	文部科学省・厚生労働省・大阪府・八尾市からの指示に従い、新型コロナウイルス感染防止の為、適切な清掃・消毒を行った。 保護者に毎日園児の健康観察カードの提出をお願いし、来園者には検温と消毒を実施している。 7月に八尾市のコロナワクチンの優先接種を職員と、課外講師に実施した。 9月1日に全職員のPCR検査を実施した。 また、遠足に付き添う職員には事前にPCR検査を実施した。 全保育室の空気清浄機を入れ替えた。 陽性者発生時には、八尾市の子ども安心PCRを活用し、濃厚接触者だけでなく、同じクラスの園児にも安心のためPCR検査を実施した。 蔓延防止期間は全職員週に1回のPCR検査を実施している。	A
	(2)行事の実施や実施内容・方法について検討する	遠足については、春は中止し、秋にバスを使って、カップ座とドリーム21に実施している。どちらもバスの消毒を徹底し1クラス1台、施設は消毒済み・貸し切りとなっている。 どろんこ遊びは、感染防止の為中止、プールは人数を減らし、間隔を開けての水遊びに変更した。 運動会は各学年ごとに園庭で3日間入場者も保護者2名に制限して行った。 音楽会は各クラスごと、入れ替え制で行った。 絵画展は急速なコロナ感染状況の悪化のため中止とした。 毎月の誕生会・クリスマス会・人形劇等は、感染対策を徹底し、各学年ごとに行った。 保育参観については、状況を見て検討中。	B

	(3) 休園中の連絡・保育方法 (Web 配信等) について検討する	今年度は緊急事態宣言中も休園は行わなかったため、動画の配信などは行わなかったが、保護者への家庭保育の協力を依頼しており、欠席している園児には担任からの定期的な電話での状況把握を行った。	B
--	------------------------------------	--	---

### 3. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果及び今後の課題

B	今年度も新型コロナウイルス感染防止対策のため、行事については実施が難しいものもあったが、実施の時期や方法を変えて行い、概ね目標や計画は達成するように努めた。今後も保育内容の改善を検討し、様々な状況に対応出来るよう具体的な計画を立て、実行していきたい。保育室の消毒・換気のためエアコン・空気清浄機の入れ替え、エアバスターの購入などに努めた。2歳児クラス開設のため台所と保育室を改修した。絵本の貸出しも定着し、さらに図書の実施に努める。英語、らいおんスポーツクラブ、学研の課外教室も感染対策を行いながら実施されており好評である。要支援児については、専門機関との連携も年を重ねるに従って、教員の知識や理解も深まっているので、年々人数は増加しているが、全園で協力して教育・保育に対応していきたい。コロナ対策のため実施できない子育て支援・行事などについては、状況の好転を待つだけでなく、実施方法の変更など何らかの対策を考えていく必要があると思われる。今後も教職員の教育・保育の質、安全安心の意識の向上にさらに取り組んでいく。
---	---

### 4. 学校関係者評価委員会の意見

<p>今年度の自己評価の結果は、A段階4項目、B段階17項目、C段階2、総合的な評価はB段階との報告があった。</p> <p>今年度も新型コロナウイルス感染症への対応については、委員会でも丁寧に説明していただいた。</p> <p>安心・安全な園の教育・保育活動が実施できるよう教職員間で議論を重ねるとともに、園児や教職員に感染者が発生しないよう行事の中止・見直し、消毒・清掃の徹底などについて様々な工夫を重ね教育活動を行なわれた。その結果、総合的な評価としては、目標が達成された (B段階) との事であった。園児一人ひとりに対して適切な指導・支援を行うとともに、蔓延防止等の期間において登園している園児と登園していない園児に対して、教育内容に差が生じないように配慮を続けてしていくとの事であった。</p> <p>保護者の評価アンケートについては、89%の保護者から回答があった。このアンケート結果では 25 項目中、90%以上の保護者が肯定的な回答をした項目が 20 項目であった。</p> <p>以上を踏まえると、本園は教育目標に掲げられている幼児の心身ともに健康な成長発達のために適切</p>
--

な環境を用意し、幼児期にふさわしい集団生活が展開されるよう配慮した幼児教育に真摯に取り組まれていると認識した。

従って、本委員会としては協議の結果、各評価項目に対する自己評価は妥当であると判断した。

次に、A段階別の各取り組み状況について意見を述べる。

A段階の評価であった4項目について意見を述べる。『1. (3) ②保育環境の充実』については、クラス数の増加に伴う楽器等の購入や保護者会園芸委員さんの協力を得て、芋ほりなどの行事を実施することができたとの事。行事等の実施にあたってはこれからも保護者の連携・協力を大切にして取り組んでほしい。『2. (1) 園の施設、設備、遊具、行事などの総点検』については、専門業者による遊具等の安全点検、全保育室の空調設備の改善、2歳児受入れの準備などに取り組まれたとの事。引き続き、感染対策等にも力を入れて安全対策に取り組んでほしい。『4. 子育て支援の充実 (1)』については、専門家による教職員の資質向上に取り組むとともに、地域の子育て支援センター的な役割を引き続き担ってほしい。『7. (1) 園内の清掃・消毒に体制を整える』は、国や大阪府・八尾市の指示等に適切に対応するとともに、PCR検査の実施をより充実させたとの事。今後も、感染症に対して適切な対応がなされることを願っている。

次に、評価がCであった2つも項目『4. 子育て支援の充実 (2)』『6. 園に対する保護者の満足度把握、情報共有及び情報公開 (3)』について、意見を述べる。

コロナ禍の影響で未就園児親子登園が実施できなかった事や行事の見直し等のため、ブログで発信する情報も少なかった事などが要因であるとの事であった。2つ目の項目については保護者アンケートの項目13の肯定的回答がわずかであるが減少傾向になっていた事に表れていると考える。保護者等への情報発信の創意工夫をお願いする。

最後に、今後もコロナによる影響が続くと思われる。感染症対策等を徹底するとともに、その状況の中でもすべての園児や保護者等の要望に応える教育・保育活動をできるだけ行っていただきたい。全教職員の皆様が、園児にとって、保護者にとって、そして地域社会にとって何が大切かを改めて熟考していただくとともに本園の教育目標の達成をめざした教育・保育活動に尽力されることを願っている。委員会では評価段階の表記について、A、B、C、Dの四段階ではなく、例えば、S、A、B、Cの四段階表記にしてはどうかという意見が出た。理由は評価項目が『達成されている』にも関わらず、『B』表記となるのはいかがかという事である。検討をお願いする。

## 5. 財務状況

公認会計士による年3回の監査において、より安定した経営に向かう努力をしていること、財務状態は適正であることについて評価を受けている。



## 令和3年度 清友幼稚園評価アンケート結果

先日は、幼稚園評価自己診断に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。  
 今回、237名の保護者の皆様から回答を頂戴しました。保護者の皆様からの評価を真摯に受けとめ、園の経営や指導法の見直しにつなげていきたいと考えております。幼稚園の教育方針や教育内容をご理解いただいた上で、その取組を評価していただき、その結果を公表し幼稚園を開くことで、さらなる教育充実を目指してまいります。今後とも教育活動推進のためにご協力いただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。

	そう思う おおむね思う	やや思う	あまり思わない	そう思わない
1 子どもは幼稚園に喜んで通園している	195		36	6
2 教育方針や教育内容・活動についてはよく分かる	167		65	11
3 園は一人一人の子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助に努めている	166		63	8
4 園は子どもの自主性や意欲を大切にしようと努めている	174		51	9
5 園は子どもたちが基本的な生活習慣が身につくように努めている	206		30	0
6 園は子どもたちが様々な遊びや活動を通して、集中して話を聞く態度を育てている	190		44	10
7 園は子どもたちが自分の思いが表現できるように努めている	154		72	10
8 園は子供たちが自然とのふれあい、直接体験を通して、命の大切さに気づくように育てている	179		51	6
9 園は子どもたちが友達の良い思いに気づき、互いに認め合えるように育てている	178		51	5
10 園は集団でのきまりを守る態度を育てている	211		23	0
11 園は小・中学校、高校、地域の人々との交流を通して人とのかかわる力を育てている	71	95	61	5
12 子どもは園内外の行事に喜んで参加している	199		31	7
13 参観、懇談会、様々な行事で、子どもの様子や育ちがよくわかる	123		77	32
14 園内外は清掃が行き届き、衛生的な環境作りに努めている	213		24	0
15 園は子育ての参考になる情報の提供に努めている	99	109	24	4
16 園はホームページなどで情報公開することに積極的である	86	120	26	5
17 園は安全管理に努め、危機管理意識向上に努めている	189		46	0
18 園は個人情報保護に努めている	192		43	0
19 園から出す手紙はよく分かる	169		54	12
20 子どものことを園や教員に相談しやすい	166		61	9
21 保護者会活動が活発で保護者どうしの交流の場になっている	94	104	29	7
22 園は担任だけでなく、園全体で子どもの保育に取り組もうと努めている	187		46	4
23 地域の幼稚園として子育て支援に努めている	131	89	13	1
24 家庭での基本的な生活習慣を身につけることができた	170		60	7
25 家庭で子どもとコミュニケーションを図ることができた	189		47	0